



## 2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月13日

上場会社名 株式会社ツカモトコーポレーション

上場取引所 東

コード番号 8025 URL <https://www.tsukamoto.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 百瀬 二郎

問合せ先責任者 (役職名) 取締役コーポレート本部副本部長 (氏名) 角田 英二 (TEL) 03-3279-1330

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	7,334	7.7	△153	—	△91	—	△121	—
2025年3月期第3四半期	6,811	△6.4	△450	—	△414	—	△280	—

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,519百万円 (563.0%) 2025年3月期第3四半期 229百万円 (△63.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	△30.02	—
2025年3月期第3四半期	△69.48	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期第3四半期	31,427	15,453	49.2
2025年3月期	28,898	14,054	48.6

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 15,453百万円 2025年3月期 14,054百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	30.00	30.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,000	3.3	10	—	50	—	150	—	37.17

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 — 社 (社名) 、除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 7 ページ「2. (3) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期3Q	4,069,747株	2025年3月期	4,069,747株
2026年3月期3Q	35,066株	2025年3月期	34,502株
2026年3月期3Q	4,035,039株	2025年3月期3Q	4,035,580株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料 3 ページ「1. (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	7
(セグメント情報等の注記) .....	8

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業業績を背景とした株価の上昇に加え、新政権による経済対策への期待感もあり、緩やかな回復基調で推移しました。一方で、米国の通商政策の動向や、インバウンド需要の一段落感、物価上昇の継続による消費者マインドの低下などにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、建物賃貸事業が堅調に推移したことに加え、ユニフォーム事業において受注が増加したことから、増収となり、収益面においても改善が見られました。

厳しい経営環境ではありますが、当社グループは高採算事業へのリソース集中を図るべく、各事業におけるポートフォリオの見直しを断行するとともに、組織体制の強化を通じて事業構造改革の基盤構築に注力しております。今後も、早期に安定した事業基盤を確立し、将来の持続的な成長へとつなげてまいります。

引き続き、当社が創業以来培ってきた「商人魂」と「フロンティア精神」のもと、伝統を継承しながらも改革を実行し、企業価値の一層の向上を目指してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間における業績は、売上高は7,334百万円（前年同期比7.7%増）、営業損失は153百万円（前年同期は営業損失450百万円）、経常損失は91百万円（前年同期は経常損失414百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は121百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失280百万円）となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりです。

#### <和装事業>

ツカモト市田株式会社の和装事業につきましては、不採算催事からの撤退を進めたこともあり、減収となりましたが収益は改善しました。

以上の結果、当事業分野の売上高は630百万円（前年同期比5.4%減）、セグメント損失（営業損失）は142百万円（前年同期はセグメント損失149百万円）となりました。

#### <洋装事業>

アパレル事業につきましては、レディースOEM事業、メンズ事業におけるGMS向け商品の販売が減少し減収となりました。

ユニフォーム事業につきましては、ユニフォーム商品の新規案件の受注、継続案件の納品が増加したことにより増収となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は3,790百万円（前年同期比17.0%増）、セグメント利益（営業利益）は228百万円（前年同期はセグメント損失26百万円）となりました。

#### <ホームファニッシング事業>

ホームファニッシング事業につきましては、OEM受注の減少に加え、直営店舗における販売が当初計画を下回ったことにより、大幅な減収となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は217百万円（前年同期比24.9%減）、セグメント損失（営業損失）は208百万円（前年同期はセグメント損失118百万円）となりました。

#### <健康・生活事業>

健康・生活事業につきましては、テレビ等の通信販売、GMSや家電量販店での販売は低調に推移しましたが、ECでの販売、サウナ機器の受注は堅調に推移し、増収となり収益は改善しました。

以上の結果、当事業分野の売上高は1,968百万円（前年同期比5.0%増）、セグメント損失（営業損失）は348百万円（前年同期はセグメント損失389百万円）となりました。

<建物の賃貸業>

建物の賃貸業につきましては、テナント状況に大きな変化もなく、売上高は前年並みに推移しましたが、費用が増加したため減益となりました。

以上の結果、当事業分野の売上高は805百万円（前年同期比1.1%減）、セグメント利益（営業利益）は445百万円（前年同期比3.4%減）となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間における資産の部は、前連結会計年度末に比べ2,528百万円増加し31,427百万円となりました。これは、流動資産における現金及び預金が158百万円、受取手形及び売掛金が178百万円減少したこと、棚卸資産が576百万円増加したこと及び投資その他の資産における投資有価証券が時価評価により2,520百万円増加したこと、出資金が300百万円減少したこと等が主な要因となります。

負債の部は、前連結会計年度末に比べ1,130百万円増加し15,974百万円となりました。これは、流動負債における電子記録債務が274百万円増加したこと及び固定負債における税効果会計により繰延税金負債が793百万円増加したこと等が主な原因となります。

純資産の部は、前連結会計年度末に比べ1,398百万円増加し15,453百万円となりました。これは、株主資本における利益剰余金が配当金及び親会社株主に帰属する四半期純損失により242百万円減少したこと及びその他の包括利益累計額におけるその他有価証券評価差額金が1,725百万円増加したこと等が主な要因となります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想としましては、現段階で2025年5月15日発表の連結業績予想の修正は行っておりません。ただし、通期の業績見込みにつきまして見直しが必要と判断した場合には、直ちに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,073,674	1,915,102
受取手形及び売掛金	1,447,563	1,268,730
電子記録債権	101,039	132,920
棚卸資産	1,885,586	2,462,337
その他	620,779	694,893
貸倒引当金	△2,556	△3,475
流動資産合計	6,126,087	6,470,508
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,054,893	2,012,243
土地	10,562,576	10,562,576
その他(純額)	106,866	104,303
有形固定資産合計	12,724,336	12,679,123
無形固定資産		
その他	70,217	74,706
無形固定資産合計	70,217	74,706
投資その他の資産		
投資有価証券	8,066,425	10,587,199
出資金	800,120	500,120
退職給付に係る資産	980,707	986,428
その他	266,496	264,831
貸倒引当金	△135,763	△135,763
投資その他の資産合計	9,977,986	12,202,815
固定資産合計	22,772,540	24,956,646
資産合計	28,898,627	31,427,154
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	885,135	866,884
電子記録債務	964,331	1,238,653
短期借入金	4,894,768	5,730,961
1年内返済予定の長期借入金	1,950,000	950,000
未払法人税等	35,404	19,060
未払消費税等	3,305	—
資産除去債務	3,185	—
店舗撤退損失引当金	12,107	38,828
その他	502,392	474,631
流動負債合計	9,250,630	9,319,020
固定負債		
長期借入金	1,087,373	1,451,868
繰延税金負債	3,529,859	4,323,062
再評価に係る繰延税金負債	13,032	13,032
退職給付に係る負債	154,841	160,848
資産除去債務	10,028	881
その他	798,081	705,347
固定負債合計	5,593,217	6,655,041
負債合計	14,843,848	15,974,062

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,829,844	2,829,844
資本剰余金	713,177	713,177
利益剰余金	6,362,988	6,120,974
自己株式	△41,493	△42,252
株主資本合計	9,864,517	9,621,744
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,881,718	5,607,121
繰延ヘッジ損益	163	△916
土地再評価差額金	8,780	8,780
退職給付に係る調整累計額	299,600	216,361
その他の包括利益累計額合計	4,190,262	5,831,348
純資産合計	14,054,779	15,453,092
負債純資産合計	28,898,627	31,427,154

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	6,811,406	7,334,100
売上原価	4,907,027	5,076,230
売上総利益	1,904,378	2,257,869
販売費及び一般管理費	2,355,218	2,410,925
営業損失(△)	△450,839	△153,055
営業外収益		
受取利息	2,262	2,737
受取配当金	126,652	171,235
保険配当金	5,092	5,220
その他	5,648	6,780
営業外収益合計	139,656	185,974
営業外費用		
支払利息	83,042	108,117
手形売却損	1,461	1,259
為替差損	12,737	6,383
その他	6,030	8,908
営業外費用合計	103,272	124,669
経常損失(△)	△414,454	△91,750
特別損失		
減損損失	—	58,905
店舗撤退損失引当金繰入額	—	34,269
特別損失合計	—	93,175
税金等調整前四半期純損失(△)	△414,454	△184,925
法人税、住民税及び事業税	△134,046	△63,331
法人税等調整額	—	△477
法人税等合計	△134,046	△63,809
四半期純損失(△)	△280,408	△121,116
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△280,408	△121,116
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	—
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	552,421	1,725,403
繰延ヘッジ損益	5,994	△1,079
退職給付に係る調整額	△48,754	△83,238
その他の包括利益合計	509,661	1,641,086
四半期包括利益	229,252	1,519,969
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229,252	1,519,969
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

税金費用の計算

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	77,969千円	90,324千円

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	和装事業	洋装事業	ホーム ファニッシング 事業	健康・生活 事業	建物の賃貸業	計		
売上高								
外部顧客に対する 売上高	666,205	3,238,663	276,567	1,874,953	751,981	6,808,371	3,034	6,811,406
セグメント間の 内部売上高又は振替高	297	476	13,450	458	63,007	77,689	—	77,689
計	666,502	3,239,140	290,017	1,875,411	814,988	6,886,061	3,034	6,889,096
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△149,096	△26,331	△118,417	△389,258	461,618	△221,485	△35,544	△257,029

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との  
差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	△221,485
「その他」の区分の損失(△)	△35,544
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△193,809
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△450,839

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	和装事業	洋装事業	ホーム ファニッシング 事業	健康・生活 事業	建物の賃貸業	計		
売上高								
外部顧客に対する 売上高	630,682	3,790,222	217,681	1,947,808	744,206	7,330,601	3,498	7,334,100
セグメント間の 内部売上高又は振替高	24	0	0	20,476	61,721	82,221	0	82,221
計	630,706	3,790,222	217,681	1,968,284	805,928	7,412,823	3,498	7,416,322
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△142,783	228,537	△208,796	△348,637	445,962	△25,717	1,069	△24,648

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、新規事業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との  
差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益又は損失	金額
報告セグメント計	△25,717
「その他」の区分の利益	1,069
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△128,407
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業損失(△)	△153,055

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「ホームファニッシング事業」セグメントにおいて、閉鎖が決定した店舗について帳簿価額を減額し、減損損失として特別損失に計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、58,905千円であります。